



国連権利委員会対日審査の様



ブリーフィングに向けた打ち合わせ会の様

## COMMENT

### 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会

あべ かずひこ  
会長 阿部 一彦



日本障害フォーラム (JDF)  
代表として参加する  
阿部一彦会長

建設的対話における政府回答は、現在検討中とか、法や制度の総論的な説明にとどまり、地域における具体的な実践状況についての言及がほとんどありませんでした。今後は総括所見をもとに、条約に基づいた制度の構築に努めるとともに加盟団体の皆さんとともに各地での状況を調査・確認し、地域の障害者施策の向上を実現しましょう。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、延期されていた国連の障害者権利委員会(第27会期)での日本の審査(対日審査)が、8月22日〜23日にかけてスイス・ジュネーブの国連欧州本部において行われました。

障害者権利委員会では、当該委員会からの質問票(LOI)に対し、本年5月末に提出した政府回答について質疑(建設的対話)が行われました。日身連も構成団体の一つとして参加している日本障害フォーラム(JDF)も

# 国連障害者権利委員会による 対日審査が行われる

# 日身連

発行所  
社会福祉法人  
日本身体障害者団体連合会  
(中央障害者社会参加推進センター)

発行人 阿部 一彦  
東京都豊島区目白3丁目4の3  
デアダックビル4階  
TEL 03-3565-3399(代)  
FAX 03-3565-3349  
<http://www.nissinren.or.jp>

**Japanese Federation of  
Organizations of the  
Disabled Persons (JFOD)**

年間購読料 正会員1部 300円  
非会員1部 1000円

では、障害者問題に対する日本政府のこれまでの取り組みが、障害者権利条約の趣旨を踏まえたものであるかの検証をパラレルレポートにまとめ、障害者権利委員会へ提出しました。

障害者権利委員会による日本の審査に、障害者団体の声を届け、より良い審査報告・勧告(総括所見)を得て、今後の国内の法制度の向上に役立てる目的のもと、障害者権利委員会と日本政府との建設的対話を見届けるため、JDF代表である阿部一彦日身連会長をはじめ構成団体の有志約70名がジュネーブへ入りました。

現地で構成団体の有志の皆さんは、対日審査に向け、障害者権利委員会委員にパラレルレポートによる障害者団体の声を届けるためのロビー活動やブリーフィングなどを精力的に行いました。

今回の対日審査を踏まえて障害者権利委員会は、日本政府に対し改善すべき施策について、9月中旬頃に総括所見を示す見込みです。



JDFの関係者とともに